



日本の“宝島”あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより

## 若者が活躍するまちづくり～未来の大人応援プロジェクト～

今年3月の第二期天草市地域まちづくり計画において、本渡まちづくり協議会では、本渡地域まちづくり計画を作成し、施策の一つに「未来の大人応援プロジェクト」を掲げSBP事業に取り組んでいくことにしました。

昨年の岸川政之先生との出会いから始まり、天草拓心高校と協議を重ね、本年度より天草拓心高校の2年生11名、1年生4名でSBP部が発足しました。

私たちは、天草市のご理解を得たうえで、この未来の大人たちの活動を全面的に支援することとしました。そこで8月23日～24日伊勢市の皇學館大学で行われた第4回全国高校生SBP交流フェアに生徒たちと参加してきました。企画・進行・運営を地元の3校の高校生が担当し皇學館大学の学生が裏方で支える、生徒主体のフェアです。北海道留萌高校から沖縄西原町の高校生まで全国から24校が参加しました。各校の発表は、それぞれの地域の特性を高校生らしい発想で形にしていける取り組みについて、堂々と発表するその姿に驚きと感動を覚え、聞き入ってしまいました。いずれも素晴らしく、審査員の方々も優秀つげがたく困った様子でした。

拓心高校はこれからなので発表はしませんでしたでしたが、中心商店街で行われた各地の魅力を知ってもらうイベント、夜の市では、手作りのクッキーを販売し完売しました。このフェアに参加した生徒さんは、全国の多くの仲間とふれあい、交流を深め、大変貴重な体験をし、得るものが多かったのではないかと思います。

9月1日に、岸川先生を交え、生徒達が自ら考え、取り組むことに決めたのは、天草オリジナルのたい焼き（Sの絆焼き）と防災用非常食を作る事業です。さっそく行動を始めることになります。

地域の課題を見つめ、高校生自らが解決することを目指し、地域に根差した活動をしていくと確信しています。しかしながらこの活動は、生徒や学校だけではうまくいきません。行政はもちろんのこと、地域の皆様のご理解とご支援が不可欠です。皆様のお力をお貸しください、生徒たちと一緒に、天草の地域課題の解決に向けて力を合わせていきたいと思います、未来の大人たちのために。



本渡まちづくり協議会  
会長 中川竹治

Vol.23

令和元(2019)年10月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P1
- 令和元年度事業計画・収支予算など……………P2～3
- 未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業……………P4～5
- 各地区の話題……………P6～7
- 天草拓心高校SBP部の紹介など……………P8

### ほんどのいま

令和元年9月1日現在  
(対1.3.1との比較)

【本渡南】	男……………3,862人(-117)
女……………4,439人(-146)	計……………8,301人(-263)
世帯数……………3,766(-97)	高齢化率……………32.9%
【本渡北】	男……………5,503人(+52)
女……………6,000人(+100)	計……………11,503人(+152)
世帯数……………5,023(+110)	高齢化率……………23.2%
【亀場】	男……………2,028人(-12)
女……………2,335人(+7)	計……………4,363人(-5)
世帯数……………1,815(+7)	高齢化率……………24.4%
【伊宇土】	男……………300人(-7)
女……………321人(-2)	計……………621人(-9)
世帯数……………263(+1)	高齢化率……………44.9%
【志柿】	男……………1,283人(-12)
女……………1,490人(-29)	計……………2,773人(-41)
世帯数……………1,212(-10)	高齢化率……………35.1%
【下浦】	男……………804人(-4)
女……………941人(-12)	計……………1,745人(-16)
世帯数……………773(+1)	高齢化率……………43.3%
【橋浦】	男……………1,143人(-6)
女……………1,261人(-13)	計……………2,404人(-19)
世帯数……………1,001(+1)	高齢化率……………37.2%
【本町】	男……………840人(-4)
女……………888人(-8)	計……………1,728人(-12)
世帯数……………839(+2)	高齢化率……………38.9%
【佐伊津】	男……………1,544人(-3)
女……………1,674人(-29)	計……………3,218人(-32)
世帯数……………1,425(+1)	高齢化率……………35.8%
【宮地岳】	男……………251人(+4)
女……………252人(-5)	計……………503人(-1)
世帯数……………240(-1)	高齢化率……………51.1%
【合計】	男……………17,558人(-109)
女……………19,601人(-137)	計……………37,159人(-246)
世帯数……………16,357(+15)	高齢化率……………30.8%

## 天草拓心高校SBP部の活動紹介



▲天草拓心高校SBP部の皆さん(前列右から3番目が部長の大石さん)

天草拓心高校SBP部です。  
私たちは2年生11名、1年生4名の計15名で活動しています。

現在は、天草オリジナルのたい焼き（Sの絆焼き）と防災用非常食を作るプロジェクトを進めています。難しい挑戦ですが、みんなで意見を出し合いながら活動しています。

天草は魅力がいっぱいなので、その魅力を私たち高校生から全国に広めていきたいと思えます。地域の皆様応援よろしくお願いします。

また、私たちの活動については、天草拓心高校ホームページ内SBPのコーナーで随時発信していきますので、ご覧ください。



交流フェア前日に愛知県高浜高校の皆さんと交流しました



オリジナルたい焼き(Sの絆焼き)紹介



高浜高校の活動紹介

【編集・発行】  
本渡まちづくり協議会

【事務局】  
天草市 地域振興部  
まちづくり支援課

〒863-0023  
熊本県天草市中央新町15番7号  
TEL 0969-32-6661  
FAX 0969-23-1999  
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

● 本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 清武	楠浦地区振興会長
監事	池邊 哲夫	公募
"	竹畑 研一	公募
委員	海江田雅靖	本渡南地区振興会長
"	金澤 一紀	本渡北地区振興会長 ※
"	河野 晃	亀場地区振興会長
"	平山 辰巳	伊宇土地区振興会長 ※
"	福島 実	志柿地区振興会長
"	松岡 政幸	下浦地区振興会長
"	岡部 養一	本町地区振興会長
"	原田 康秀	佐伊津地区振興会長
"	松川 亮爾	宮地岳地区振興会長
"	寺澤 静子	文化関係
"	浦川 至	体育関係
"	淀川 英数	経済団体 ※
"	上村 恭子	観光関係
"	梅川 正	産業関係
"	横田 早苗	高齢者福祉関係
"	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任委員の皆さまです。



**協議会だより発行**  
協議会だよりは、年2回本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を分かりやすくお伝えできる誌面にしたいと思います。ご意見やご要望などありましたら、本会事務局(ポルト・市まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

**未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業**  
平成30年3月13日に開催した本渡まちづくり講演会をきっかけに天草拓心高校と本会で実施に向けた協議を行い、学校と地域が連携して、未来の大人応援プロジェクト(SBP)と題して地域課題解決に向けた取り組みを行っていただくことを確認しました。その後、SBP実践校である三重県立南伊勢高校から天草拓心高校を訪問してもらい、事例発表や交流を図り、岸川政之氏による講演、全国高校生S

# まちづくりは人づくり！ 若者と一緒に地域を元気に！

～令和元年度 第1回まちづくり協議会を開催～

令和元年度の事業計画・収支予算を審議

令和元年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を6月7日、天草市役所本庁舎で開催しました。

会議には、委員など23人が出席。平成30年度の事業実績・収支決算・監査報告や、令和元年度の事業計画・収支予算などについて慎重に審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

本会の「まちづくりは人づくり」という基本理念のもと、会議の中でも「人材育成」の重要性が再確認され、今年度も人材育成を中心とした事業を展開することとなりました。

「まちづくり人材育成」「まちづくり研修」「協議会だより発行」などを継続して実施し、昨年度から未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業も天草拓心高校と連携しながら実施しています。各事業の情報は、本紙や各地区振興会だよりなどでお知らせいたします。



各事業の紹介

まちづくり人材育成事業

まちづくり人材育成事業は、まちづくりを推進する人材の育成を目的として研修を行うものです。今年度は、各地域で意欲のある方を対象に、昨年度の研修を踏まえ、より実践的な研修を受講してもらいます。

まちづくり研修

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換することで、気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。今年度は、本会委員、地区振興会職員を対象として、まちづくりの先進地を訪問する研修を実施いたします。また、昨年度人材育成事業の講師を務めていただいた古田妙子氏が主催する九州かあちゃんサミットへも参加します。

令和元年度 収支予算

収 入	
予算額	18,895,100円
○天草市交付金	16,833,000円
○参加者負担金	340,000円
○繰越金	231,537円
○繰入金(ふるさと応援寄付金)	1,490,500円
○雑入	63円
支 出	
予算額	18,895,100円
○運営費	235,000円
○事業費	3,543,500円
・まちづくり人材育成事業	(450,000円)
・まちづくり研修事業(委員研修)	(590,000円)
・ (振興会職員研修)	(430,000円)
・ (九州かあちゃんサミット)	(103,500円)
・まちづくり講演会	(20,000円)
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(1,500,000円)
・協議会だより発行事業	(450,000円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	231,600円

平成30年度 収支決算

収 入	
決算額	17,963,784円
○天草市交付金	16,833,000円
○参加者負担金	399,000円
○繰越金	231,776円
○繰入金(ふるさと応援寄付金)	500,000円
○雑入	8円
支 出	
決算額	17,732,247円
○運営費	282,499円
○事業費	2,564,748円
・まちづくり人材育成事業	(284,103円)
・まちづくり研修事業	(1,158,149円)
・まちづくり研修(加工塾)事業	(70,080円)
・SBP推進事業	(624,504円)
・協議会だより発行事業	(427,912円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	
○次年度への繰越金	231,537円

※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局(ポルト・市まちづくり支援課) ☎06661へお尋ねください。



※SBP: Social Business Areaの略で、地域課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組みです。具体的には、若者(高校生)が中心となり、地元にある地域資源(人、モノ、自然、歴史、産業など)と交流し、見直し、活用して、まちづくりの「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。

B/P交流フェアへの参加により、他地区の事例を学び、天草版SBPを企画立案、実践していきます。本会としては、岸川氏とともに拓心高校と連携して取り組んでまいります。(詳細は、4、5ページをご覧ください)

善意の寄附ありがとうございました (平成31年3月～令和元年8月 本渡まちづくり協議会受領分) (敬称略)

○ふるさと応援寄附金として

佐藤 清美(東京都) 永山 悦朗(東京都) 杖田 忠行(広島県) 並木 忠男(神奈川県)  
山本 瑞紀(北海道) 吉野諭美子(長野県) 山下 誠(佐賀県)

※その他、23人の方にご寄附いただきました。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようお願いいたします。

## 第4回全国高校生SBP交流フェア

### 学生の学生による学生のための祭典

昨年3月に本渡まちづくり講演会(講師・岸川政之氏)の講演を聞いた天草拓心高校の生徒達でSBP部を立ち上げ、その一歩として、同部の生徒達が参加した元年8月23日から同24日に三重県伊勢市で開催された「第4回全国高校生SBP交流フェア」に一緒に同行してきましたので、その内容について、ご紹介いたします。

SBP交流フェアとは、全国からSBPの取り組みを行っている高校が、取り組みの紹介や開発商品の販売をしながら参加者相互の情報交換やネットワークの構築の



▲取り組みを懸命に説明



▲夜の市、天草拓心高校SBP部出店中!



▲オールラショナル退出!

ための交流の場とするもので、また、同フェアは企画・進行・案内をSBPの取り組みを行っている高校生が担当し、地元大学生がその裏方をサポートするという、生徒や学生主体のフェアです。

### ポスターセッション

第1次審査で選ばれた21団体が3グループに分かれ、取り組み内容の説明(4分)、審査員による質疑(4分)、審査員による採点上セッションに進みます。各団体とも限られた時間内でプレゼンテーションを行い、

審査員からの質問にもしっかりと口調で答え、自分たちの取り組みに自信をもっていることがうかがえました。また、各団体ともプレゼンが終わった後は、積極的に他団体のところへ行き、取り組みの内容を聞くなど交流を深めていました。

### 全国高校生SBP販売交流会「夜の市」

参加団体及び地元の大学生・企業などが商店街にブースを出展し、それぞれの開発商品や地元の特産品などの販売を行います。天草拓心高校もクッキーの販売を行いながら、学校や地域のことにについて来場者へ説明していました。また、夜の市の途中でポスターセッションの結果発表もあり、オールラショナルへへの進出を決めた6団体は喜びを爆発させていました。



▲成果を発表中!

### ワークショップ

参加者は、企業や実行委員会が行う5種類のワークショップに分かれ、他団体の生徒とともに学びます。内容は、SDGs(持続可能な開発目標)を学んだり、動画作成などを行いました。さすがはこういった活動をしている生徒たち、人見知りすることもなく、仲良く学んでいました。



▲ワークショップ(拓心高校生による発表中)

### SBPセミナー

琉球大学農学部の中野客員教授と沖縄県西原町で活動をしているNS2BPのみなさんによる、SBPの取り組みの考え方・進め方についての



▲琉球大学農学部 中野客員教授

### 昼食

当日朝、高校生レストラン「まこの店」で調理された「まご弁当」をいただきました。

### オールラショナル

ポスターセッションを通過した6団体による、スクリーン・プロジェクターで映像資料等を使ったプレゼンテーション(10分)、審査員による質疑(10分)を行います。各団体とも趣向を凝らしたプレゼンテーションで、自分たちが何のためにどのような活動を行っているか、また、今後はどのような展開を考えているかをしっかりとプレゼンし、審査員からの質疑にもしっかりと答えました。



▲愛知県高浜高校

▲富山県滑川高校

### パネルディスカッション

SBPを実践している高校生を中心にパネルディスカッションを行いました。SBPをやったよかった、夢に向かってよりがんばっていききたいなど実践を通じて感じていることなど発表されました。

### 結果発表・表彰

まず、各団体の取り組みに対しての評価を三段階(稚)



▲パネルディスカッション

輝く極)で発表。その後、全参加団体を対象に各審査委員から贈られる特別賞、オールラショナルの結果を受け決定される文部科学大臣賞、三重県知事賞の発表・表彰が行われました。

文部科学大臣賞を受賞したのは、福島県立ふたば未来学園中学校・高校の「社会起業部カフェチーム」。地域に開かれた学校づくりを実践する場としてCaféふうを経営

経営するために、一般社団法人たんぼを立ち上げています。営業については、昼間は一般雇用、夕方は高校生が従事する形態をとり、学校、地域の両方の利用があつていいます。震災による人口減のなか、一般雇用しても、経営できていること、利用者のアンケート



▲福島県立ふたば未来学園中学校・高校

トをとり経営改善していること、脱プラスチックに向けた取り組みなどが高く評価されました。

三重県知事賞を受賞したのは、三重県立相可高校の「バイオマス産業のまちづくり」。環境負荷低減のため、バイオマスプラントを秋田から移設し、食品調理科で発生する食品残渣から消化液を作り、農場で利用されています。移動費用をクラウドファンディングで集め、資源循環を進めていることなどが評価されました。

今年特別に、沖縄県西原町の「創作演劇 さわりんと運玉義留」に審査員特別賞が授与されました。学校単位でなく、地域に居住する高校生が中心となって活動していること、審査員からの質問に的確に答えていたことなどが評価されました。

### バイキング交流会

フェア最後は、参加団体みんなでのバイキング形式の食事会。用意された料理に加え、三重県立相可高校から「まこの店」で名物の「だし巻き卵」が会場で調理され振る舞われました。また、各団体から提供されたお土産品をかけた「ピング大会」もあり、大いに盛り上がり交流を深めていました。



▲三重県立相可高校

### 第4回全国高校生SBP交流フェアに参加して

参加してわかったことが、SBPに取り組んでいる高校生の地域に対する熱い思い! 各地域さまざまな課題をもっています。それぞれ「自分たちで地域のために何か出来ることはいないか?」と考え、地域の人・企業・行政などと連携し取り組みを進めています。一緒に参加した天草拓心高校生も他校の事例を参考に、地域課題解決に向けた事業の企画立案、運営を進めています。来年度の交流フェアでは、天草拓心高校も活動内容を発表する予定です。これまでに、学校、地域、行政が連携しながら、取り組みを進めていければと思います。



▲沖縄県西原町NS2BP



▲参加した全国の高校生



### 川の探検を行いました!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

7月26日、小学生を対象に地区を流れる隅田川を探検し、川の水に関する環境調査を行いました。

保健所や市役所の方にご協力をいただき、川の地形、水質、川底、生物の4項目で評価を行い、自分たちが暮らす地域の川が、どんな環境にあるのかを知ることができて、とても貴重な体験となりました。

川に入るのが初めての子どももあり、川底を覗きこんだり、石をひっくり返したりして生物探しをし、自然とのふれあいを楽しんだようです。

この体験を通じて川への関心をもち、大切な地区の水資源を守っていかなくてはと思います。

### 三世代交流交通安全教室を開催

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

6月29日、保育園児から高齢者まで幅広い世代約70名参加による「三世代交流交通安全教室」が開催されました。

園児向けの交通教室では、横断歩道の渡り方などを学び、また、時速5kmで衝突した際の衝撃を体験できる「シートベルトコンピンサー」や、その場で横断歩道の横断を体験できる「ワタリ上手君」など、大掛かりなセットで模擬体験をしました。また、本物のパトカーや白バイの展示もあり、大人も子どもも興味津々に乗車していました。これを機に、地域の皆さんの交通安全に対する意識が更に高まることを願っています。



交通安全教室の様子

### 「ホテル観賞会 in 山口」を開催

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅晴

今年度で3回目となるイベント「ホテル観賞会 in 山口」を5月25日に本渡児童センターと旧JA本渡五和山口出張所を会場に開催しました。

今回も地元食品企業の出店や実行委員会スタッフによるぜんざいの無料提供と、好評のもち投げを行いました。やがて山口の里が明るくなるころ、来場の皆さんは町山、川沿いのホテルの生息域に移り、昨年より多く飛び交うホテルの光の軌跡を楽しめました。



多数の来場がありました!

### 「災害の備えについて」の講演を開催しました

本渡北地区振興会 会長 金澤 一紀

女性部らくらく教室は年2回実施しています。今回は「災害の備えについて」と題し、講師に社会福祉協議会本渡支所の山本さんをお招きハイゼックス包装食品の作り方の説明や、各家庭でどのようなものを備蓄したらいいのか。また、災害時にどのような物が必要かなど、実際に熊本地震の支援に携わった経験を踏まえご講演いただきました。講演会後には、非常食のアルファ化米(できあがったもの)やレトルトカレー、保存用ビスケットを配布しました。

女性部らくらく教室は、女性に限らずどなたでも参加できます。今後は、より多くの方に参加していただけたらと思います。

### 市民に愛される本町ふるさと美術館

本町地区振興会 会長 岡部 養一



▲2月開催のひなまつり展から

平成23年に閉校した旧本町中学校特別教室を活用して25年から本町ふれあい美術館が開館しています。絵画、イラスト、彫刻、木工、写真、書道など様々なジャンルの作品を展示し、年間を通じて地域住民のみならず町外からも多くの来館者があります。本町の重要な文化施設としていつまでも市民のみならずに愛され親しまれる美術館であってほしいと思います。開催時は市政だよりや本町地区振興会ホームページでお知らせしますのでぜひご来館ください。

## 各地区の話題

### みんなで楽しく健康料理

亀場地区振興会 会長 河野 昇

7月24日、今年度2回目となる健康料理教室を開催し、男性5名、女性7名の参加がありました。まず、食生活改善推進員で食育アドバイザーの山本友保さんから「健康寿命を延ばそう」というテーマで講話がありました。その後、調理室で魚のカレーニエール・たたききゅうりのごまだれ和え・ピーマンとえのきの味噌和え・冷やし南瓜のポタージュスープを食生活改善推進員の皆さんから手ほどきをうけながら、皆さん楽しく調理を行いました。



▲親子一緒に調理中

### 楠浦小学校がくまもと子ども芸術祭に出演

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武

8月11日に開催された第7回くまもと子ども芸術祭に楠浦小学校の5・6年生39人が出演し「楠浦掘切り唄」を披露しました。「楠浦掘切り唄」は、楠浦町の庄屋であった宗像堅固氏が、楠浦の山すそを流れる方原川の流を変え、山を掘り切る大工事を行った事を称え、その完成を祝ったものです。

楠浦小学校は、第1回の同芸術祭でも「楠浦掘切り唄」を披露しており、その当時三味線を弾いた先輩達が今回は地方として共に参加しており、地域文化の継承が図られていると感じました。



### 生物調査勉強会を実施しました!

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

下浦地区では、夏休みに合わせて子どもたちを対象とした生物調査勉強会を行いました。

これは、身近な自然と農業に親しんでもらうため、下浦地区振興会と天草市広域協定下浦北部保全会が開催したもので、同会役員のほか、下浦地区の小学生、保護者が参加しました。新田の用水路でシジミ、昆虫などを取ったのち、小手川を遡りました。

普段は見慣れない貝や魚、昆虫などの生物に子どもたちも大人も興味津々でした。

終了後は藤の口遊水公園でバーベキューをし、楽しいひと時を過ごしました。



### 志柿町男女混合ミニバレー大会!

志柿地区振興会 会長 福島 実

6月9日、2回目となる男女混合ミニバレー大会が開催されました。老若男女、多くの方の参加がありました。3つのブロックに分けて、まずはリーグ戦を行い、その後決勝トーナメントを行いました。チームごとに個性があり、元気なプレーで大会を盛り上げるチームもあれば、日頃からの練習の成果を活かし、圧倒的な技術力で魅了するチームもあり、参加者だけでなく応援に来てくださった方々もとても楽しめた大会になりました。今後もこのような大会を開催し、地域の方々が楽しめるような事業を行ってきたいと思っています。

### 総合球技大会!

伊宇土地区振興会 会長 平山 辰巳

6月2日、伊宇土町総合球技大会が開催されました。当日は、あいにくの雨で、グラウンドゴルフは中止となり、ソフトボールはミニバレーボールに変更となりましたが、男子8チーム(98人)のトーナメント戦、女子4チーム(28人)の総当たり戦で行いました。若手の加入や、親子2世代での参加も増え、家族や、こどもたちの応援もあり、賑やかな大会となりました。今後も多くの方に参加してもらい、地域の方々が楽しめるような事業を行っていきます。



▲みんな笑顔で記念撮影!



▶第7回くまもと子ども芸術祭  
2019 in 天草(楠浦掘切り唄)